

しばさきNEWS vol.4

発行 至誠ホーム 旭 博之 編集 調布市地域包括支援センター至誠しばさき
調布市菊野台1-52-4/TEL 042-488-1300/平成27年12月発行

⚠️ 高齢者の振り込め詐欺にご注意を ⚠️

皆さんは4月から9月の間での調布市の被害状況を知っていますか？

なんと!!

- ・被害件数は37件! 被害額は約1億5千万円!
- ・全国7-スト1位の被害状況となっております…。
- ・毎日のように被害は起きており、警察でも対策を行っているが、なかなか減らないようです。



《調布警察署より~ご自宅でも出来る対策として~》

- ・留守番電話にしておきましょう。留守番電話にしておくと犯人は電話を切る傾向にあります。
- ・もし、電話に出てしまい、息子や孫のふいをして「携帯の番号が変わった」などの連絡あった時には、元の番号にかけ直しましょう。
- ・振り込め詐欺撃退のため、通話内容を録音する自動通話録音機を無料で貸し出しています!ぜひ、活用してください!

自動通話録音機の資料と申し込み用紙は地域包括支援センターにもありますので、ぜひお立ち寄りください。また、高齢者の消費者被害の防止について、先日の地域ケア会議で取り上げさせて頂きましたので、次のページもご覧ください!



10月20日に「地域の見守りによる高齢者の消費者被害防止に向けて」というテーマで地域ケア会議を開催し、民生委員、広報協力員、老人会、ケアマネジャー、サービス事業所の方に参加して頂きました。
調布市消費生活相談室の方から、高齢者の消費者被害の現状を話して頂き、その後、地域で暮らす高齢者の消費者被害を防ぐために、地域で活動している自分たちがどのような関わりができるかを考えて頂きました。
ここでは、調布市消費生活相談室の方にお話して頂いた内容の一部をご紹介します。

① 高齢者がトラブルにあう背景

- ・高齢者誰しもが抱える不安につけこまれる(健康、お金、安全)
- ・自宅に在宅している時間が多い
- ・最新のサービスや商品の知識についていけない
- ・判断能力の低下(認知症など)



② 被害にあう高齢者の心理

- ・初めから断るのは相手に失礼ではないかという気持ち
- ・一人きりの孤独感から親切にしてくれる勧誘員を信頼
- ・被害にあっていることを相談しない
- ・そもそも被害にあった認識がない(騙されたという実感が無い)



③ 発見のポイント

- ・お金に困っている様子がうかがえる
- ・家の中に見慣れない商品や契約書がある
- ・いつもと様子が違う、元気がない
- ・見かけない人が自宅に出入りしている



④ 発見したらどこに相談するか

- ・地域包括支援センター
- ・社会福祉協議会
- ・市役所高齢者支援質
- ・警察
- ・消費生活センター
- ※それぞれが連携して相談にあたる場



これから年末にかけて、様々な消費者被害も増加していきます。お困りのことや異変を感じたら、近くの相談窓口までご相談ください。



インフルエンザにもご注意を!!

インフルエンザの流行する時期になります。いくつか予防法をご紹介します。

- 流行前にインフルエンザワクチンの接種を受けましょう。予防には有効です。
- 外出から帰ってきたら手洗いとうがいをおこないましょう。
- 室内の換気を行い、適切な湿度(50~60%)を保ちましょう。
- 栄養と十分な休養をとみましょう。体に抵抗力が付き、かかりにくくなります。
- なるべく人ごみを避けましょう。やむを得ず外出する時マスクを着用しましょう。

裏には地域包括支援センター至誠しばさきの職員紹介がありますので、ぜひご覧ください!!

地域包括支援センター至誠しばさき職員紹介

センター長
すずき ゆうこ
鈴木 祐子
《主任介護
支援専門員》



この包括が開所して3年。長距離通勤をしているのと、私自身の介護予防を兼ねて、運動を始めました。いい感じで筋肉が付き始めニコニコです。元気に頑張りますのでよろしくお願いします。

しば もとゆき
柴 元之
《予防プランナー》



介護からリハビリまで「何でも屋」です。包括の相談業務も日々勉強させてもらいながら、少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張っています。

きうち てつこ
木内 徹子
《看護師》



地域包括支援センター至誠しばさき開設時から勤務し、早3年が経とうとしています。これからも皆様がすこやかに生活できるようお手伝いさせていただきます。

ときひろ なつみ
時弘 夏美
《見守りネット
ワーク担当》



開設時より「みまもっと担当」として地域のお祭りやイベント、商店など様々な場所に顔を出させてもらっています。この顔を見かけたら気軽に声をかけてください。笑顔大切にこれからも頑張ります。

ぬかが ゆうすけ
額賀 悠介
《社会福祉士》



今年の4月に着任してから、早半年が経ちました。最初は緊張していましたが、今ではだいぶ慣れ、お腹周りの緊張も緩んでいるように感じています。心も身体も適度な緊張を保ちながら頑張ります。

じつかわ ゆうじ
實川 勇治
《看護師》



10月から当センターに着任しました。地域包括支援センターでの相談業務は始めてですので、職場のみなさんに色々アドバイスを頂きながら、日々頑張っています。

くわばら けいこ
桑原 景子
《予防プランナー》



出産後、しばらく仕事から遠ざかっていましたが、至誠しばさきで勤務を再開し2年目になりました。これからも皆様の相談に真摯に向き合い、自分自身も成長していけるように努力していきます。

お気軽にご相談ください!!



高齢者の介護や福祉について悩んでいたらお電話を!!

地域包括支援センターは調布市の委託を受け、高齢者の方やそのご家族の様々な相談を受ける「よろず相談窓口」です。介護保険をはじめ、様々な福祉サービスの利用や、生活、健康、暮らしのことなど幅広い相談をお受けしています。相談、支援には「保健師及び経験のある看護師」「社会福祉士」「主任介護支援専門員」という医療・福祉の専門家が相談に乗っております。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

《調布市地域包括支援センター至誠しばさき》 TEL:042-488-1300 / 調布市菊野台1-52-4